

牟佐町内会新聞

第42号

発行日：令和6年1月1日
 発行：牟佐町内会
 責任者：町内会長
 田尻 祐二
 編集：電子町内会運営委員

年頭あいさつ

町内会長 田尻 祐二



新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、数年間のコロナ禍を乗り越えて、全国的に多くの行事が再開。我が町内会も、牟佐っ子ども教室、運動会、矯正展うどん等販売、そして年末のもちつき大会等々、実に久しぶりで賑やかに盛り上がりました。私もコロナ禍前とは少し違った視点で、住民が直接会うこと、対話することなど日常のコミュニケーションがいかに大切かを実感しました。さて、下水道牟佐幹線敷設工事は矢津峠を越えつつあり、牟佐地区の新しい子ども園も具体化しつつあります。市街化区域内の農地は随分減少し、住戸が増え、町内会世帯数は1月1日現在で1012世帯となり、はじめて1千世帯を越えました。より一層、住民同士の交流、参画の機会を大切にしながら、行政を含めた多様な団体との連携、協働で、引き続き課題解決に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

中西絢哉選手に岡山市人見絹枝スポーツ顕彰



左から植田会計、黒岩副会長、中西選手、大森市長、田尻会長

中西選手（地蔵地区）は、昨夏の世界アーチェリー選手権大会において銅メダルを獲得。この大会の結果、今年開催のパリオリンピック代表に内定しました。岡山市はその偉業を称え、9月12日、市長室において臨時表彰式を開催。大森市長から「特別スポーツ荣誉賞」が授与されました。その場に牟佐町内会からも代表が同席させていただき、関係者の皆様と一緒に喜びを申し上げます。

※写真中央、中西選手の手には「産地牟佐」イノシシ革製の名刺入れです。
 （町内会長 田尻 祐二）

5年ぶりのもちつき大会開催

5年ぶりのもちつき大会で、公民館は大賑わいでした。この度も「産地牟佐」にこだわった内容で、新鮮野菜はもちろんですが、シシ汁（黄ニラ入り）、川ガニのつみれ汁、ニホンミツバチのはちみつは、いずれも牟佐の自然の豊かさを味覚を通して体感できるものでした。食材を提供いただいた地元の皆様から感謝申し上げます。もちつきでは、90歳のSさんが普通についている姿に驚くとともに、シニア世代から子ども会世代の親子や幼児まで一緒に杵を持つ光景に、世代を超えてつながることができる「もちつきの力」を改めて確認できました。長いブランクで行き届かぬ点もありましたが、「来年もやってほしい」の声に、お手伝いをいただいた運営スタッフの皆さんとともに、達成感を共有させていただきました。
 （町内会長）

